

平成26年度

— 第18回（定例・臨時） —

教育委員会会議録

開 会	平成27年 3月20日	午前 午後	2時30分			
閉 会	平成27年 3月20日	午前 午後	3時30分			
会議場所	教育委員室					
委員出欠	花山院弘匡	欠	森本哲次	出	佐藤 進	欠
	藤井宣夫	出	高本恭子	出	吉田育弘	出
議事録署名	教 育 委 員 長					
委 員	教育委員長職務代理者					
書 記	奈良県教育委員会事務局 企画管理室					

議案及び議事内容	結果
<p>次 第</p> <p>議決事項 1 教育委員会の権限事務の補助執行について</p> <p>議決事項 2 奈良県指定文化財の指定について（秘密会）</p> <p>議決事項 3 人事について（学校関係）（秘密会）</p> <p>議決事項 4 人事について（事務局関係）（秘密会）</p>	<p>可 決</p> <p>可 決</p> <p>可 決</p> <p>可 決</p>
<p>○森本委員長職務代理「ただ今から、平成26年度第18回定例教育委員会を開催いたします。本日は、委員2名が欠席ですが、定足数を充たし委員会は成立しておりますので、これより委員会を開催いたします。」</p>	
<p>○森本委員長職務代理「本日の案件の、議決事項2から4については、現時点で未公表の案件及び人事に関する案件であり、秘密会において審議すべきものと考えます。委員のみなさまにお諮りします。いかがでしょうか。」</p> <p>※ 各委員一致で可決</p>	<p>可 決</p>
<p>議決事項 1 教育委員会の権限事務の補助執行について</p>	
<p>○森本委員長職務代理「それでは、議決事項1『教育委員会の権限事務の補助執行』について説明願います。」</p> <p>○教育長「橿原考古学研究所及び附属博物館を知事部局に移管するにあたり、補助執行により対応しようとするものです。詳細につきましては、文化財保存課長からご説明いたします。」</p> <p>○文化財保存課長「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の中で、文化財保護に関することは教育委員会が管理し、執行することになっていますが、地方自治法第180条の7において地方公共団体の委員会は、地方公共団体の長と協議して、長の補助機関である職員に補助執行させることができるという規定があることから、今回、橿原考古学研究所及び附属博物館の管理運営について、知事部局の地域振興部長に補助執行させるために知事に対して協議するという案件です。権限は残しますが、事務については執行させるという内容となります。ご審議よろしく願います。」</p>	

議案及び議事内容

○森本委員長職務代理「ただいまの件につきまして、ご意見、ご質問はございませんか。」

○森本委員長職務代理「これは前回もある程度説明いただいておりますので、議論いただいている案件ですので、問題無いものと思います。」

○森本委員長職務代理「ご意見がないようですので、原案どおり議決してよろしいか。」

※ 各委員一致で可決

○森本委員長職務代理「議決事項1については可決いたします。」

その他報告事項

○森本委員長職務代理「続きまして、報告、連絡事項等がございますか。」

○教育長「その他報告事項が8件ございます。松田次長から1件、生徒指導支援室長から2件、人権・地域教育課長から2件、保健体育課長から2件、教育研究所副所長から1件を続けてご報告いたします。」

1 教育長の任命に関する議会同意について

○松田次長「去る3月18日に閉会しました2月定例県議会において、吉田教育長の任命同意を得ましたので報告します。これは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴う教育委員会制度改革により、知事が新教育長を直接任命するために、議会からその任命の同意を得たものです。なお、任期は4月1日からの3年間となります。」

2 児童生徒の安全に関する緊急確認調査について

○生徒指導支援室長「この件は、先月川崎市で発生しました中学1年生殺人事件の被害生徒と同様の危機にさらされている可能性のある児童生徒を把握し、組織的に緊急対応していくことを目的に、文部科学省が先月末に全国都道府県に対し実施したもので、すでに先週末には報道発表されているものです。今回は、二つの類型について調査いたしました。(1)の表が類型1で、『2月27日時点で、学校に於いて7日間以上連続して連絡が取れず、その生命又は身体に被害が生ずるおそれがあると見込まれるもの』についての全国と奈良県の人数です。全国で合計232名でした。大阪府が48人と最も多く、本県は女子高校生1人です。(2)の表が類型2で、『一目に該当するもののほか、学校外の集団との関わりの中で、その生命又は身体に被害が生ずるおそれがあると見込まれるもの』について同じく全国の数と奈良県の数です。全国合計が168名で、静岡県が最も多い26人、奈良県は男子中学生1人でした。(3)の表は類型1、2の合計を示し、全国で400人となりました。校種別に見ると中学校で243名、60.8%、続いて高等学校、小学校がいずれも18%台となっています。男女別に見ると男子が合計で247名で61.75%、女子が153名で38.25%となっています。最も多いのは大阪府で、本県は2人、0件と回答したところが12県ありました。本県の2件については、女子高校生が1月中旬から家出し消息不明となっている事案で、すでに警察に届出済みであり、指導主事も参加したケース会議を持つなど、関係機関と連携し対応しているところです。また、男子中学生の件については、2月下旬に家出し消息不明となり、警察にも届け出て捜索していたところ、3月14日に身柄を確保できています。なお、不明の1名については、引き続き関係機関と連携した対応を進め、1日も早く確保できるよう努めてまいります。」

議案及び議事内容

3 「インターネットセルフルールブック」について

○生徒指導支援室長「これは、今年度、県内国公立全ての高等学校等が加盟する奈良県高等学校生徒会連絡会が、プロジェクトチームを立ち上げ取り組み、このほど完成したものです。昨今の児童生徒を取り巻くインターネット環境が著しく進展する中で、児童生徒がインターネットやスマートフォンを安心・安全に利用し、トラブルや犯罪等の被害者にも加害者にもならないために、自らルールを決め、家族と話し合っそのルールを守ることが大切であるという考えのもと、小・中学生等の意見も聞きながら作成したものです。年度内には県内全ての国公立学校に配付を終え、来年度に小学5年生から高校3年生までの約10万5千人に配布し、活用いただく予定です。」

4 第2回奈良県社会教育委員会議の概要について

○人権・地域教育課長「開催日は2月9日です。議事の内容としましては、社会教育委員会議の進め方と社会教育の推進の重点についてでした。会議の進め方や推進の重点が議事を中心だったのは、この会議が総花的な議論ではなく、重点を絞ってその項目について市町村等に発信することが大切ではないかという議論が委員から出たからです。重点を絞る前に地域の課題として、いろんな議論がなされました。少子高齢化や地域のプラットフォームづくり、地域の教育力の向上、子どもの貧困、教育格差、学校、家庭地域の連結、社会教育委員会議のそもそもの役割という議論がされましたが、このような議論を重ねた結果、来年度からは、奈良県の子どもの関する課題を解決するために、大人の学びを創造する社会教育の在り方にテーマを絞って議論するようにし、将来は定例教育委員会に議論の結果や提言を報告したいと思います。」

5 「おはよう・おやすみ・おてつだい」約束運動の取組等について

○人権・地域教育課長「アンケート結果がまとまりましたので、報告します。この運動は夏休みから開始し、冬休みまで実施しました。運動実施前の6月と実施後の1月を比較したデータ、そして実施後の関係者の感想をまとめたものです。6月と1月の比較においては、挨拶やお手伝いも数字は上がっています。また、感想としても、おおむね『大切な事だ』とか『効果があった』というデータがあります。保護者の感想は、『子どもと向き合う時間が増えた』とか、『親の意識が変わってきた』という、おおむねいい意見が多かったです。親の負担感が多いとか、期間が長いという課題もありますので、改善できることから改善し、来年度も実施していきたいと思えます。

次に、家庭教育セミナー&イベントを2月15日にイオンモールで実施しました。参加者としては乳幼児等を持つ保護者や児童です。イオンモールに来店された親子等呼び込んで啓発活動を行いました。親子が楽しみながら、一緒に体を動かしたりコミュニケーションを深める、保護者が子育てについての知識や具体的な方法を身に付ける等の主旨で開催しました。内容は、『おはよう・おやすみ・おてつだい』約束運動の表彰式、奈良県栄養士会の協力を得て朝御飯の大切さの実演、親子で運動遊びをするような実践等を行いました。」

6 高校総体カウントダウンイベントについて

○保健体育課長「2月14日に橿原文化会館大ホールにおいて、高校生活動わっしょい倭カウントダウンイベントを開催しました。高校生活動わっしょい倭リーダー会メンバーによる開会宣言の後、知事、山下県議会議長、ゲストの柔道家野村忠広さん、わっしょい倭代表生徒によるカウントダウンボード除幕式、知事とゲストとのトークショー、奈良県開催競技の紹介や会場市町村の

議 案 及 び 議 事 内 容

PRなど盛りだくさんの内容で会場は大いに盛り上がりました。ゲストからは自身の経験を元に観覧者に熱いメッセージを頂いたところです。また、奈良県高等学校文化連盟の友情出演として、畝傍高校、郡山高校、奈良朱雀高校、それぞれ吹奏楽、琴、和太鼓など見事な演奏を披露していただきました。会場は、約千名の観覧者で賑わい、大会開催への期待が大いに高まるイベントになりました。今後も大会までしっかりと準備を進めていきたいと思っています。なお、カウンタダウンボードは、近鉄橿原神宮前駅中央改札口を入ってすぐの所へ設置しております。」

7 「みんなでチャレンジ！」について

○保健体育課長「この催しは、2月14日土曜日に開催しました。第1部では、県内小学校22校の児童が、県立橿原公苑第1体育館に集まり、県がホームページを利用して実施している『外遊び、みんなでチャレンジ!』のまとめとして、ペアなわ跳びや8の字大なわ跳びの記録に挑戦しました。今年度は、ペアなわ跳び、8の字大なわ跳びを合わせて、昨年度を上回る731人の児童が参加しました。第2部では、『体力アップ!親子チャレンジ』と題して、テレビでお馴染みの佐藤ひろみちお兄さんの『らくがきっ子体操クラブ』から講師を招き、幼児から大人まで総勢1000人以上の人が楽しく体を動かしました。参加者からは、親子のスキンシップや体を動かすことの楽しさを体感できたと評価を頂きました。県教育委員会では、引き続き保健体育課のホームページを通じ『外遊び、みんなでチャレンジ』を実施して、県内小学校の子どもたちが、興味をもってなわ跳びやボール運動等のチャレンジ運動に取り組むことにより、更なる体力向上につなげてまいります。」

8 へき地教育におけるテレビ会議システムについて

○教育研究所副所長「この事業は、テレビ会議システムを活用して、へき地・小規模校における学校間の交流学习を実施し、その教育効果について検討するものです。へき地指定のやまぞえ小学校、天川小学校、上北山小学校の3校をモデル校として、交流学习では、特に話し合ったり発表し合ったりする、少人数では行い難い学習活動を多く取り入れました。その効果等については、学習の様子を記録するとともにアンケート調査等を実施して、検討しました。また、学校間の教員の授業研究や事前の打合せにも、テレビ会議システムを活用しました。実施した交流学习の主な内容は国語や理科、外国語活動の授業だけでなく、学校や地域を紹介する内容の学級活動や、昼休みを活用した交流活動も実施しました。

2月2日、教育研究所において、本事業の報告会を開催しました。モデル校教員による実践発表及び教育研究所研究指導主事による分析結果の報告の後、参加者を交え様々な意見を頂きました。とりわけ、コミュニケーション力については、へき地の指定校の子どもたちは幼稚園から小学6年生までほぼ同じメンバーで、あうんの呼吸で分かり合えてしまうので、他地域の子どもたちと交流学习を重ねるごとにどうすれば伝わるか、また、ちゃんと発しないといけない、と考えて話す姿が見られるようになりました。子どもたちから『友達が増えた。』『自分たちだけでは分からない、たくさんの意見を知ることができた。』などの感想が聞けました。とりわけ、上北山小学校は、5、6年生で6名ですが、女の子がいませんので、女の子と交流ができてうれしかったという意見もありました。

教科学習については、『対話形式でやりとりをするような実践的な学習ができた。』という意見や『学習の進度を合わせるための打合せが難しい。』『このシステムを活用した指導事例が多

議案及び議事内容

く公開されれば、よりスムーズに計画できた。』という意見もいただきました。アンケート調査での『勉強することは好きです。』等の平均値の上昇から学習意欲の向上に効果があることが分かりました。

先生方の研修については、『同じ学年を担当する教員が学校内にいないので、今まで不安があったが、交流相手校の教員と同じ方向性をもって授業づくりができ、スキルアップしたと思う。』『世代の違う若手教員と共同作業ができて楽しかった。』『教科の専門性を生かせる中学校で、このシステムを活用したい。』『教科等研究会の公開授業等を配信してもらえれば移動の負担が軽減されて参加しやすい。』という意見もいただきました。交流学习の様子は、3月25日水曜日夕方6時からの奈良テレビ放送番組『ゆうドキッ!』の中の、『なら教育レポート～まなびだより～』で放映される予定です。」

○森本委員長職務代理「報告いただいた内容について、ご意見、ご質問はございませんか。」

○森本委員長職務代理「文科省の児童生徒の安全に関する緊急確認調査の結果の概要について、教育委員会でも以前から不明の方の調査をされていて、そのときは該当者はいなかったと思いますが、今回の調査では該当があったので、調査を継続的にっていくことは必要だと思いますがどのようにお考えですか。」

○生徒指導支援室長「去年の夏に、居所不明ということで報道がありました。例えば、外国から来られた方が子どもを連れて帰ってしまったような事例で、県内でも数件ありましたが、全て確認がとれています。今回は川崎のような事象と同様の危険性がないかどうかの調査です。近府県に聞きましたら、居所不明も件数に含めているところや、家出等の事案を入れているところもありました。本県でもこれまでも、家出等があり、捜索したという事案もありました。現時点ではこの1名という状況です。」

○森本委員長職務代理「教育委員会としてもこのような事象をチェックしていくことは必要と思います。」

○森本委員長職務代理「テレビ会議システムの活用について、去年福井県に視察に行ったときに見て、いいシステムだと思いましたが、今回の報告を聞かせていただくと改めていいと思いました。今の若い人たちは情報機器を使うのは手慣れていると思います。奈良県でも山間へき地は多くありますので、引き続いて拡大していくことをお願いしたいと思います。」

○教育研究所副所長「今回は1校対1校の交流としていましたが、来年度以降は複数校間で行ったり、研究所から模範的な授業を配信したりできるシステムの構築を検討したいと思います。」

○森本委員長職務代理「今の子どもたちは、テレビとかパソコンのようなツールを見ながら過ごしていることも多いと思いますので、我々の年代と比べると入りやすいと思いますのでよろしくお願いします。」

議 案 及 び 議 事 内 容

○教育長「家出は県立学校からは報告が上がっていたのですか。市町村からは、来るとは限らないのですか。」

○生徒指導支援室長「県立高校からは報告が来ていました。また、市町村から情報提供という形でいただいています。」

○教育長「来年度からは、教育委員長が廃止になりますが、教育長の職務代理が必要となります。そこで、花山院委員長を職務代理として指名したいと思っています。」

――― 全委員一致で賛成 ―――

○森本委員長職務代理「その他報告事項については了承いたします。」

○森本委員長職務代理「では、次に秘密会に入ります。」

議決事項 2 奈良県指定文化財の指定について（秘密会）

議決事項 2 について、教育長、文化財保存課長から説明があり、全委員一致で可決された。

議決事項 3 人事について（学校関係）（秘密会）

議決事項 3 について、教育長、教職員課長から説明があり、全委員一致で可決された。

議決事項 4 人事について（事務局関係）（秘密会）

議決事項 4 について、教育長、松田次長から説明があり、全委員一致で可決された。

○森本委員長職務代理「本日の議案は全て終了いたしました。この他に報告、連絡事項等はありませんか。」

○森本委員長職務代理「それではこれをもちまして、本日の委員会を終了します。」